



令和7年度 活動報告

柿崎区地域おこし協力隊 長谷川紘平

活動内容一覧



1. 黒川・黒岩地区の棚田を核とした地域活動
2. 生産性向上を担うスマート農業導入
3. 就農・独立に向けた取組



イネの生態の学習、栽培技術・農業機械の操作技術の習得①



育苗

〈3月下旬～4月〉黒川黒岩地区水稻共同育苗施設で塩水選、浸種、播種作業に従事しました。後日、出芽した苗箱をビニールハウスまたはプールへの運び出しも行いました。

※育苗では、平床育苗とプール育苗の違いを学びました。



田植え

〈5月～6月初旬〉12～15cmに成長した苗を運び出し、田植え作業の補助を行ったほか、終盤に田植え機の操作を教わりました。

※田植えでは、疎植栽培と密植栽培の違いを学びました。

イネの生態の学習、栽培技術・農業機械の操作技術の習得②



中干し、穂肥・薬剤散布

〈6～7月〉溝切り機を使った中干し作業、動力散布機・ドローンによる肥料散布やカメムシ防除を行いました。

※渇水の影響を踏まえて肥料を増やすなど、天候の偏りへの対策を学びました。



稲刈り・調製

〈8月下旬～10月上旬〉稲刈り作業の補助に加え、終盤にはコンバインの操作を教わりました。また収穫後は、調製作業の一連の流れを経験しました。

※草ネムやカメムシなど、玄米の等級を下げる要因を知り、収穫前の手取りや色彩選別機による除去などの対策を学びました。

スマート農業



ドローンによるカメムシ防除、肥料散布

田んぼの上空からドローンにより薬剤・肥料を散布する作業行程を学びました。

※ドローンと背負い式動力散布機、2つのやり方の作業効率の違いを実感しました。



ラジコン草刈機の操作

水野集落で、ラジコン草刈機の操作を教わり、法面の草刈りを行いました。

※刈払い機による草刈りとの違い、棚田の草刈りへの有効性を実感しました。

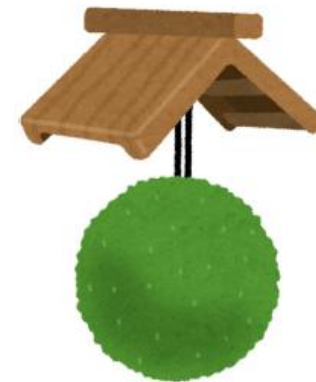


就農・独立に向けた取組①

酒蔵の研修

2社の酒蔵で、日本酒の仕込み、蔵人の仕事を研修させていただきました。
研修を通じて、農業者としての冬仕事の参考になり、人との繋がりも広げることができました。

- ・ 竹田酒造 11～12月
- ・ 頸城酒造 1～2月





就農・独立に向けた取組②

資格取得

- ・刈払い機特別教育（3月）
- ・大型特殊車両運転免許（10月）
- ・伐木特別教育（11月）
- ・フォークリフト技能講習（翌年1月）



研修・講習

- ・協力隊初任者研修
 - 柿崎区:渡辺農園（越後姫の高設栽培）
 - 「企画と立案」
- ・ニュー農業塾（上越地域振興局主催）
- ・CANVAの使い方講座



業務外の活動



集落での共同作業

- 芝焼き
- 用水の整備（泥上げなど）
- 草刈り
- 電気柵の設置、撤去



畑での栽培

夏野菜、芋類、香草など数種

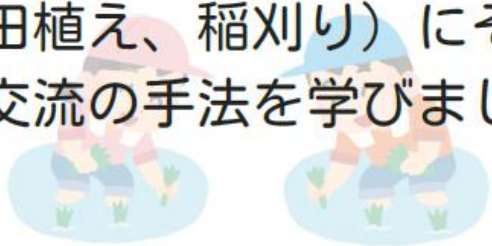


その他の業務



田植え・稲刈りイベント

頸城酒造、竹田酒造が主催する小学生を対象にした農業体験（田植え、稲刈り）にそれぞれ参加し、体験交流の手法を学びました。



干し柿作り

柿崎を食べる会の干し柿作りに2日間参加し、つくる行程を学びました。



黒川・黒岩地区の祭り

8月に旧黒川小学校にて開催の「黒川ふれあい祭り」にスタッフとして参加しました。

※美味しい焼き鳥作りと笑顔での接客をモットーに頑張りました！





1年を振り返って

稲作の研修

1年を通して稲作の一連の流れを経験し学ぶことができ、ニュー農業塾などの講習もふまえて知識の下積みも行うことができた。次年度は学んだことを生かし、より実践的な部分に取り組んで、さらに経験を積みたい。

人との繋がり

参加させていただいたイベント、干し柿作りや冬の酒蔵研修を通じて、農業・地域に関わる多くの方々と交流でき、とても貴重な機会となった。今後も関係を大事にしていきたい。

資格取得

大型特殊車両、フォークリフトや伐木など、今後、農業や集落の暮らしに大いに活躍できる資格を取得でき、活動の幅が広がった。

任期満了後の独立を目指して、小さくもしっかり第一歩を進められた1年だった。次年度は、より実践経験を積みながら、農業者として経営していくための具体的な技術・知識を深掘りしていきたい。
